**11月4日　株式会社creative box 代表取締役CEO　大野　謙介　氏**

**問１　学んだこと、印象に残った言葉、講師へのメッセージ**

自分はこれまで起業というと一部の才能があってその意思をもった人にしかできないようなとても難しいもので、自分には関係のないものだというイメージしかありませんでした。そういったイメージが強かった分、スタートアップを始めるためにプランの文章化、リーンキャンパスの作成、チームの結成、プロトタイプの実装・実証という5つのステップを踏むことが出来れば、極端にいえば、起業が可能であるというのが驚きでした。人生の失敗の話については、死ぬときに後悔しないことという回答が出ていましたが、自分の回答として浮かんだのは受験の失敗でした。しかし、話を聞いていて、その失敗を本当の失敗と判断するのはもう少し後にしてもいいのかと思いました。（経営学部会計情報1年）

Twitterを使った講義ははじめてだったんですが、講義中にふだんは聞くことのできないまわりの人の声が聞けておもしろかったです。リーンキャンパスは今日はじめて知りました。将来新規事業を立ち上げたりする機会があればぜひ活用したいです。自分の人生の価値を決めるのは自分という言葉はとても印象に残りました。自分のやりたいことや自分が価値があると思うことに取り組める人になりたいです。　　（経営学部経営学科1年）

　起業する際の精神的な事だけでなく、具体的な方法を話してもらえたので、すごく参考になった。せっかく現代にはネットという便利なツールがあるので、活用しない手はないなと思った。この講義をきいて、企業は夢物語だと思っていたけど、現実のものになりそうだと思った。“人生の失敗”についての答えを自分で見つけたいと思った。そうすれば自分の人生でやりたいことややらなければいけないことが分かってくる、と気付かされた。（経営学部経営学科1年）

Twitter使った授業でとてもおもしろかった。スタートアップを始めることってとても難しいというかハードルの高いことに感じていたので、どのように始めるのかというのを簡潔にまとめて説明してくださったので自分でもやろうとおもえばできそうに感じました。授業の最後にやったワークシートは過去を振り返ったり将来について考えてみたりすることで自分のやるべきことが明確であればあるほど企業するにしても何かを作り出すにしても形にしやすいと思うので“やりたいこと、どうなりたいか”を明確にもつことが将来を入り開くポイントだと思いました。(学教　３年)

　今までの授業では、スタートアップの話が具体的な体験談でしか聞くことができなかったが、今回の授業では抽象的な話を交えて話してもらえたので非常に分かりやすかった。自分がやりたいことを見つけるワークシートでやりたいこと、今、すべきことが明確になりました。ワークシートなどでここに気付きを与えてもらえる授業で、さすが元リクルートの社員さんだなと思いました。(経営・経営　1年)

Start upとして生きるなかでおっしゃっていた、起業したいのであればリーンキャンバスを作成してみるべきだというお言葉が大変印象に残りました。恥ずかしながらリーンキャンバスという言葉すら知らなかったのですが、漠然としている数々の自分のやりたいことを書き出してみることにより、より具体的に動くことができることを学びました。

また、最後の伝えたいことで１、人生の失敗とは何なのか？２、自己実現は仕事だけではない。３、自分の人生の価値を決めるのは自分　の３つを投げかけていらっしゃいましたが、どれも大切なことだけどついつい目先のことに囚われ、また他人と過剰に比較してしまうのが人の本質なんだろうと思いました。よく考えれば当たり前のことを毎日意識して日々の生活を送ること、それこそが“死ぬ時に後悔しない”ライフコースへと繋がっているのかもしれないと感じました。スライドもトークもワークシートもとてもひきこまれ、また深く考えることのできた講義でした。お忙しい中、貴重なお時間を割いて動き出すキッカケを惜しみなくご教授くださりありがとうございました。（経営学部経営学科１年）

まず、私は大野さんと中坂さんが中心となって様々なことを成し遂げてきたということに関してとても驚きました。長い間ツイッターを使ってきましたが、GIFが使用できるようになった時、お気に入りの作家さんや絵描きさんがそれを使用して短いアニメを作っていて感動したことは今でも覚えています。同時期にpixivでも今までの静止画だけでなく、アニメーションも投稿出来るようになりましたが、これも大野さんが関わっているのでしょうか？私はこういった絵を見ることが多いので、憧れの作家さんのメイキング映像を見ることが出来るというのはとても嬉しかったです。（経営学部経営学科1年）

今行っている事業に関してだけでなく、その事業に至った経緯や丁寧な言葉の説明を交えた講演をしてくださり、とても興味深かったです。プランAの文章化、リーンキャンバス、ワークシート等を通じて自分のやりたいこと、そのためにやらなければいけないことを明確にし、実現に近づけていくことが大切だなと思いました。「少し長く生きている先輩として伝えたいこと」では、「自分の人生の価値を決めるのは自分」という言葉が心に残りました。人生を決めるのも自分、低く評価するのが自分ならば高く評価するのも自分なので、自分にとって貴重な人生を歩みたいと思います。（経営　国際経営１年）

　具体的にどのコンテンツやものに頼って企業すればいいのかというものをはっきり述べて下さって分かりやすかったです。ただ私は、ＩＴ関係の企業はあまり考えていないので、最後の話が一番印象的でした。「自己実現は仕事だけではない。」というのは普段からよく考えていて、自分の好きなことを仕事はイコールになるわけではないし、自分のしたかったことを全て選べる人生が最高だというものではないのかなとも思います。自分がやりたいことを見つけるワークシートを私はすらすら書くことが出来ないので、書けるようにしたいです。（教育人間科学/学校教育課程1年）

**問２　今後のアクションに繋げていきたいこと**

自分の目標ややりたいことを文章化したいと思う。また、しっかりと練って思いだけで終らないようにしたい。死ぬ時に後悔したくない、とはいつも思っているので今まだ若いとは言え、むしろ若いからこそきちんと自己設計を考えていきたい。昔のことは振り返ってはいけないと思っていたが、今回のワークシートでもあったように、考えることも大事であることも分かったので、自分を一度見つめ直し、今後どうしていくのか具体的に決めなくてはならないと思う。そして、死んだ時、後悔しないようにしていこうと思う。（教育人間　人間文化１年）

今回、授業内に「自分がやりたいことを見つけるワークシート」を書いて気付いたことは、幼少期の感覚が今の自分にも残っているということです。「今も好きだな」と思うことや、「これは変わったな」と気付くこともあり、自分を見つめなおすことって楽しいし大切だなと思いました。大野さんは大学生の時にすでにアクションを起こしていてすごいなと思いました。私も色々なことにチャレンジしたいです。（教育人間科学/人間文化1年）

　自分は人に流されやすく、この講義を受けると、講義をして下さった人のやり方、考え方が唯一の正解だと思い込みがちで、その方法しか見えずに視野が狭くなっていたが、それがとても危険だということが分かった。入ってきた情報は一度自分の脳内で主観を入れて考えて解釈してからその情報をどうするかを決めようと思った。（経営学部経営学科1年）

「失敗とは成功の途中に必ずある」ということを久々に聞いてみて、改めて自信を持つことが出来ました。起業にしろ就職にしろ自分のやりたいことをするとき、自分がやりたいことを敢えてやっているわけだから、いろいろな困難に直面してしまうことは不可避です。そこで生じた失敗は自分が本気でやりたいことをしている時ほどショックが大きいと思いますが、そこでめげずに失敗し続けることで成功につながっていくと思うので、今の気持ちを忘れずに日々の将来の目標に向かって試行錯誤していきます。（経営学部会計情報1年）